

様式4：セキュリティ要件 “Vendor Certification Program (VCP)”

1 運営における基本ルール

会場に入る際には、厳重なセキュリティが求められている。受託者は、氷の製造、配送の業務委託業務を行うに当たり、以下のルールを順守すること

(1) 会場へのアクセス要件

会場へ入場する人、車両、物品等は、組織委員会が定める6つの要件を満たさなければ入場することはできない。すべてのサプライヤーは下記の6つの要件を満たす必要があることを理解し、順守すること。

① MDS (Master Delivery Schedule)

会場への車両等の配送計画を効率的に管理するため MDS (配送管理システム) へ事前登録を行う必要がある。

② VAPP (Vehicle Access and Parking Permit)

セキュリティエリアへ進入する車両のアクセス並びに駐車場へのアクセスを管理するために使用される許可証を提示しなければならない。

③ アクレディテーションカード

会場への入場に際し車両運転手及び同乗者は入場口にて組織委員会が定めるアクレディテーションカードを提示し、確認を受けなくてはならない。

④ VSA (Vehicle Screening Area)

VSA と呼ばれる入場時のチェックポイントにて車両及び運転手 (同乗者含む) のセキュリティチェックを受ける必要がある。

⑤ 物品等の事前セキュリティチェックと封印措置

氷については、入場時に個々の物品のセキュリティチェックは行わないため、必ず「組織委員会が認めた施設」(詳細は後述2(2)に記載)でのスクリーニングを済ませたうえ、物品が開封されていないことを証明するために指定のセキュリティ封印シール等により封印措置をとらなければならない。

⑥ 配送証明書 (Secure Load Pass) の提示

会場に入場するサプライヤーは「組織委員会が認めた施設」(詳細は後述2(2)に記載)において、物品等のスクリーニングを事前に完了させている証明書を VSA にて提示し検査を受けなくてはならない。

(2) 会場内納入道路及び時間の制限

会場内へ氷を納入するに当たっては、組織委員会が指示した経路に従って納入すること。また、氷の納入時間は、周辺道路の混雑影響等を勘案し、組織委員会と十分協議の上、決定すること。

(3) 周辺住民や事業者への配慮

納入等の作業に当たっては、会場周辺区域に居住する住民や事業者への迷惑とならないよう、車両の台数は最小限に留めるとともに、特に夜間・深夜帯は騒音等に配慮して行うこと。

2 実施体制

受託者は本契約の履行にあたっては、万全な取組体制のもと履行すること。

(1) 計画の作成

受託者は、契約締結後速やかに、1「運営における基本ルール」等を踏まえ、会場に納入

する氷を安全に指定された時間帯に円滑に納入できるよう、詳細なスケジュールを作成し、組織委員会の承認を得ること。スケジュール作成に当たっては、以下に記載の要件を順守の上、納入車両の大きさ、台数、納入時間帯等を定めること。

なお、以下に記載の「納入する氷を保管する倉庫に関する施設要件」については、今後変更が生じた場合には組織委員会及び受託者間で協議の上、実施するものとする。

(2) 納入する氷を保管する倉庫に関する施設要件

氷の搬入に当たっては、1(1)⑤のとおり、事前に「組織委員会が認めた施設」において、異物混入などがないよう、スクリーニング検査を済ませるものとする。なお、「組織委員会が認めた施設」とは、以下の要件を満たす施設とする。

【要件】

「組織委員会が認めた施設」とは、以下アからウの要件が順守されていることを、組織委員会から実地検査等により認められた施設をいう。

ア 作業エリア要件

(ア) 建物は外部からの不正侵入を防止できる構造物であり、アクセスコントロール（入室管理）が可能であること。

(イ) 東京2020大会で使用する氷を取扱うエリアが特定されていること。

イ 入退場、入荷、出荷に関する要件

(ア) 管理者又は必要に応じて代行者を任命すること。

(イ) 管理者は、スクリーニング及び封印の監督責任を負うこと。

(ウ) 管理者は、作業に携わる従業員へその内容を自ら教育し、周知徹底を図らなければならない。また、管理者は、教育台帳等を適切に管理し、実施記録を保存しておくこと。

(エ) 作業エリアへの入場者は警備員又は職員相互でセキュリティチェック（ボディチェック及び持ち物検査）を行うこと。

(オ) 入退場時は、入退場記録表等で必要事項（入退場日時、所属、氏名、所持品等の有無等）を記録しておくこと。管理者は、入退場記録表等を適切に管理し、確認記録を保存しておくこと。

(カ) 資材の入荷がある際は、納入者が契約業者であることを確認すること。また複数名で、納入物のセキュリティチェック・数量確認を行うこと。

(キ) 納品時の納入者と倉庫担当者が特定できるよう、入庫記録簿等で記録を残しておくこと。管理者は入庫記録簿等を適切に管理し、確認記録を保存しておくこと。

(ク) 管理者または管理者から任命された代理人は、会場へ納入する氷の安全性について事前スクリーニングを行い、車両単位での封印措置を施すこと（封印時は、2名以上の立会いで行うこと。）。

(ケ) 発送時の倉庫担当者と配送者が特定できるように記録（記録簿又は伝票管理等）を残しておくこと。管理者は、確認記録を保存しておくこと。

(コ) 封印シール等は、全てシリアル番号管理されているものを組織委員会から配布する。管理者は厳格な保管管理の徹底と、紛失、不正使用防止対策を施すこと。

ウ 納入する車両に関する要件

(ア) 納品する車両には、東京2020大会で使用する氷以外を混載しないこと。

(イ) 運転席と積載区画は物理的に分離された構造であること。

(ウ) 扉はセキュリティ封印が可能であること。